

※水色と黄色のセルは回答必須(回答すると色が消失)。

送付先:report@r-ict-advisor.jp  
(一財)全国地域情報化推進協会

派遣決定番号 160K

報告日 令和7年9月17日

報告回次 1日目

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	岡谷市役所			代表者名	早出 一真
担当者部署(属性)	企画担当			連絡先電話番号	0266-23-4811
担当者役職	主査			連絡先E-mail	
住所	394-8510 長野県岡谷市幸町8-1				

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署			
担当者氏名	連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	DX推進	
概要	岡谷市では、行政サービスのデジタル化や地域の情報化推進を図るうえで、職員一人ひとりのICTリテラシー向上およびDXに対する理解の深化が喫緊の課題となっています。地域情報化アドバイザー制度を活用し、専門的な知見を有するアドバイザーを招へいし、職員向けに啓発・研修を実施したいと考えています。			
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成)			

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年9月12日	講演(実地)	13時00分	17時45分	10
				活動時間(分)	275

  

派遣場所	会場名	岡谷市役所	最寄駅	岡谷駅
	所在地	長野県岡谷市幸町8-1	最寄駅からの交通手段	徒歩15分

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美	
評価	大変良い	
上記評価の理由(どのようなところがよかったです等詳細に)	この度のDX推進委員向け研修は、岡谷市の喫緊の課題である職員のICTリテラシー向上とDX理解の深化に対し、極めて高い効果を発揮したため「大変良い」と評価します。地域情報化アドバイザーの専門的知見により、DXを単なる技術導入ではなく、業務の根本的な見直しを伴う変革として捉える共通認識が深く浸透しました。特に、実践的なグループワークを通じ、委員一人ひとりの「自分事」としての当事者意識と主体的な取り組みへの機運が大きく醸成されました。新たに整備したDX推進体制を早期に軌道に乗せ、DX推進計画の実効性を確保するための意識改革の核となり、今後の全般的なDX推進に向けた強固な土台を築くことができたと評価します。	
アドバイザーへの要望事項	特になし。	

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	19人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数		19		

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	府内全体としてDXに対する理解や関心、ICTの知識・スキルが浸透しておらず、職員のDXに関する機運と意識の醸成が大きな課題でした。また、DXが単なる技術導入で終わり、市の業務やサービスの根本的な見直しにつながらないリスクがありました。研修により、推進委員はDXの本質を「デジタルを活用した業務・サービスの抜本的変革改革」と正しく理解をした。また、日々の業務と結びつけて主体的に取り組む姿勢についても学んだ。
---------------------------	---

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	今回の研修により、最も重要だった職員のDXに関する機運と意識の醸成を大きく進展させ、今後のDX推進の中心となるDX推進委員会の意識土台ができた。 今後は、岡谷市DX推進計画の計画期間とする令和10年度末までに達成すべきことを、この委員会とともに進めていく。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXの基本的な概念、自治体DXの意義と必要性の説明 (2040年問題を絡めたDXの必要性、地域共生社会の必要性)</li> <li>あるべき姿を描くための、ムーンショット理論とバックキャスティングによる考え方の習得 (グループワークを通して、理想の姿とそのために必要なことは何かを考えた)</li> <li>DXが進む考え方の説明 (DXによる変革を起こせる人材の必要性、政策またぎの視点)</li> </ul>
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXの基本的な概念、自治体DXの意義と必要性についての理解が進んだ。</li> <li>ムーンショット理論とバックキャスティングの考え方をグループワークを通じて学び、DXを推進するための考え方として土台ができた。</li> <li>これから行政に求められるのは、IT人材やデジタル人材ではなく、DX人材（デジタルによる変革が起こせる人材）だと理解した。また、DXには、政策をまたいた広域な視点や、幹部の力の必要性などを理解した。</li> </ul>
具体的な成果物	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑤組織業務改善ができた</p> <p>DX推進委員が、DXの必要性や知識について深い理解を獲得し、変革を主導する同じマインドを醸成することができた。</p>
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の研修はDX推進委員の意識・機運醸成に焦点を当てたものであったため、今後、実際にどうやってDXを進めていくかの具体的な行動については、今後の課題である。
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>研修の満足度は1～5の5段階評価で、平均4.4であり、満足だと多くの委員が感じた。また、参加者7割は、「DXについて取り組みができそう」と前向きな回答をいただいた。</p>
4-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する</p> <p>DX推進委員会においては、デジタル庁の窓口BPRアドバイザーの派遣を受け窓口に改革取り組む。</p>
4-4. 事業の最終的な目指す姿	岡谷市DX推進計画の計画期間とする令和10年度末までに、①行政サービスのデジタル化（もっと手軽に、もっと便利に）、②デジタル化による地域の活性化（未来への一歩。デジタルが育む地域の魅力）、③人にやさしいデジタル化（デジタルのチカラで、誰もが輝く社会を）の達成をDX推進委員会とともに目指す。

#### 5. 報告書についての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可 ○掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good\\_practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/)

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

